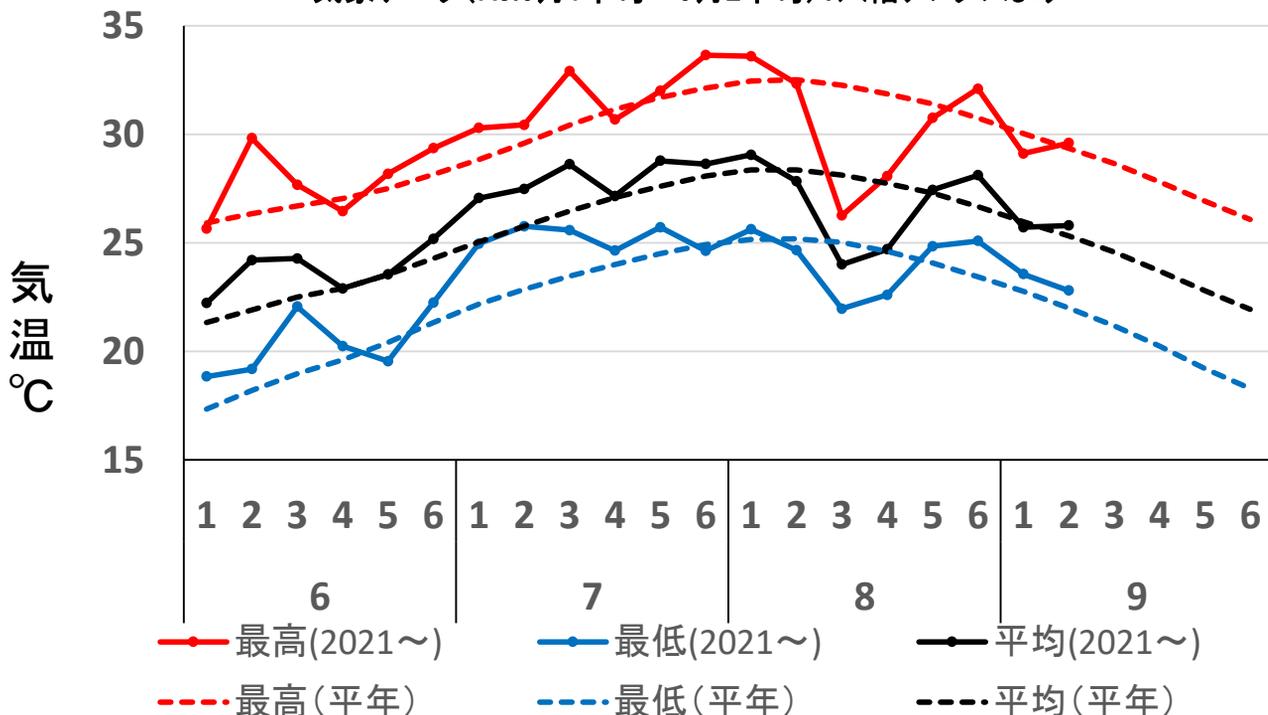


普通期水稲の収穫について

1. 生育概況

今年度は、7月の高温により、出穂が平年より早くなりましたが、8月の長雨低温により成熟期は平年並程度となっています。下表を参考に収穫予定を立ててください。また、出穂期と長雨が重なった影響により、内穎褐変病等が発生しているほ場も見られます。なお、ウンカの被害は確認していませんが、坪枯れしているほ場で収穫期が近い場合は、早めの収穫も検討してください。

〜〜〜気象データ(R3.6月1半旬〜9月2半旬):八幡アメダスより〜〜〜



収穫適期予想(夢つくし)

品種	田植え日	出穂期	収穫期予想(早限〜晩限) (積算気温の範囲時期)	出穂期後 積算気温
夢つくし	6月3日	8月5日	9月8日〜9月14日	850〜1050°C
	6月10日	8月9日	9月12日〜9月18日	
	6月17日	8月13日	9月16日〜9月23日	
元気つくし	6月10日	8月16日	9月21日〜9月26日	900〜1,050
	6月16日	8月18日	9月23日〜9月28日	
	6月24日	8月21日	9月27日〜10月2日	

※八幡アメダスデータを用いた、一般的なほ場での収穫予想です(9月10日以降は平年値を使用)。今後の天候次第では、予想が変わることもありますので、実際の判断はほ場ごとに行いましょう。

秋の農作業安全月間について

農作業事故が多発する9月から11月を農作業安全月間とし、事故防止を呼び掛けています。収穫作業で忙しい秋は、コンバインに関する下記の事故が多く報告されていますので注意しましょう。

①コンバインの可動部への巻き込まれ

自脱型コンバインに係る負傷事故の原因は、「刃、巻き込まれ」が約70%です。

(農業機械の事故実態に関する農業者調査結果(生研センター、H20.5))



事例①

タオルや腕抜き、軍手がフィードチェーンに巻き込まれた。

事例②

組作業であせってしまい、無理なペースで作業を行った。

事例③

エンジンを停止せず、わらの詰まりを取り除いた。



ポイント

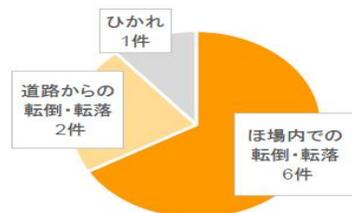
- ①作業中は、巻き込まれやすいものを身につけない。
- ②詰まり解消作業や清掃時は、必ずエンジンを停止！！

本チラシの記載内容や全ての画像、イラスト等は(独)農業・食品産業技術総合研究機構 農業技術革新工学研究センターの「農作業安全情報センター」ホームページより引用させて頂いております

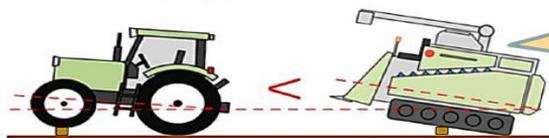
②コンバインの転倒、コンバインからの転落

自脱型コンバインの死亡事故の原因で、最も多いのが「転倒・転落」です。また、負傷事故も含めると、転倒・転落事故の半分弱は後進時に発生しています。

自脱型コンバインの死亡事故
(令和元年)9件



後方の機体付近は死角になりやすい



コンバインは構造上、重心が高い。畦越え時は機体が大きく傾き、転倒の危険！